

(別表)消費者教育に関連した団体等の取組

| 番号 | 団体名 | 取組名 | 内容 | 令和5年度実績 | 令和6年度予定 |
|----|--------------------|------------------------------|--|--|--|
| 1 | NPO法人消費者サポートネット和歌山 | セミナー開催 | 消費者が安心・安全な生活を営め、消費者市民社会づくりに寄与するため、毎年1月と5月に、その年の関心の深いテーマを選んで一般対象向けにセミナーを開催。 | 5月27日総会記念講演会実施”笑う門には金来たる ～家計から見た人生設計の考え方～ 「ゆかい亭まねー」こといちのせかつみ氏 オンライン・会場参加 計49名 令和6年1月20日公開セミナー”身近な天気と気候変動 ～いざという時のために今できること～” 気象予報士・防災士 吉村 真希氏 会場・リモート参加 計45名 | 5月25日総会記念講演会実施済”経済を知って家計の不安をなくそう” 確定拠出年金アナリスト 大江 加代氏 会場・リモート参加 計50名 令和7年1月25日公開セミナー”遺産と相続と贈与の話 ～もしものときに備えてしておきたい税の基礎知識～” 税理士 速水 慎一郎氏 |
| | | 出前講座 | 消費者が安心・安全な生活を営め、消費者市民社会の一員として自ら考え、行動できるよう、各年代(小学校・中学校・高校・支援学校・大学・一般)に応じた消費者教育・消費者啓発講座を実施。 | 県内6校及びその保護者、一般対象・消費者行政担当者・生活教養講座・老人大学など32講座実施 1,242名 | 県内3校及び2市での生活教養講座を実施済、学校・一般対象・消費者行政担当者・老人大学などで実施予定 |
| | | 見守り育成事業 | 高齢社会の中で地域で見守り活動を行う人材を育成。 | 橋本市くらし応援隊育成事業、民生児童委員協議会、社会福祉協議会他 | 民生児童委員協議会、社会福祉協議会、老人クラブ連合会、消費者団体実施済、橋本市くらし応援隊育成事業実施予定 |
| | | 情報発信事業 | 消費生活等に関する情報発信により、消費者被害の防止を図り、自立した消費者を目指す。 | 年3回、“くらしの情報アンテナ”を発行、街頭啓発への参加、橋本市消費者支援交流会へ参加 | 年3回、“くらしの情報アンテナ”を発行、街頭啓発への参加、橋本市消費者支援交流会へ参加予定 |
| 2 | 和歌山県生活協同組合連合会 | 消費者啓発講座・学習会 | 消費者が安全で安心なくらしが営めるよう、消費者市民社会の形成に向けた学習会の開催や他団体の企画に協力、参加する。 | 県内の消費者行政充実につながるよう、行政や消費者ネットワークわかやまや消費者支援機構関西(KC's)等と連携して、消費者が安心して暮らせる社会づくりにとくみしました。 | 県内の消費者行政充実につながるよう、行政や県内諸団体と連携したとくみをすすめます。 県下の消費者団体とのネットワークづくりにとくみ、消費者ネットワークわかやまや消費者支援機構関西(KC's)等と連携して、消費者が安心して暮らせる社会づくりにとくみます。 |
| | | 消費者啓発 こどもの貧困への支援(消費者市民社会の構築) | 誰ひとり取り残さない社会の実現に向けて、消費者としてSDGsの17の目標について学び行動し、安心して安全な地域社会をめざす一環。 ひとり親世帯などで子ども食堂を利用する人たちへの食の支援。 | 誰一人取り残さない持続可能な世界・日本をめざし、くらし、平和、福祉、環境など社会的課題にとくみしました。 ・第9回「0歳児からの音楽会」は、午前・午後の2部制、定員を設けて開催しました。 日時:2024年3月25日 午前・午後の2部制 場所:わかやま市民生協 E*KAOホール 内容:「わ・こるだ」によるコンサート 参加:31人参加(大人17人、子ども14人) | 行政や地域運営組織、NPO など多様な地域主体とのネットワークを通じて、こどもの貧困や単身高齢世帯がかかえる課題解決に貢献します |
| | | 生協連ニュースの発行 | 発行する広報誌に消費者被害の事例を掲載することで消費者被害の防止を図る。 | 県連ニュースを3月に発行し、消費生活センターが発行する「ホットな消費者見守りニュース」を掲載し、消費者被害の防止を啓発しました。 | 生協連の活動の広報につとめます。 引き続き、消費生活センターが発行する「ホットな消費者見守りニュース」を掲載し、消費者被害の防止の啓発に努めます。 |
| | | 和歌山大学経済学部寄付講義で授業を担当 | 和歌山県労協による寄付講義で講師を務め、学生に消費者教育の一環として協同組合を知らせる | 和歌山大学経済学部寄付講義で3コマの授業を担当しました。 ・2023年6月15日「協同組合の基礎知識」 講師 日本協同組合連携機構(JCA) ・2023年6月22日「生協の社会的役割の発揮」 講師 わかやま市民生協 ・2023年6月29日「医療福祉生協入門」 講師 和歌山中央医療生協 | 今年度も6月に和歌山県労働者福祉協議会の構成団体として和歌山大学経済学部の寄付講義を3コマ担当し、学生に消費者教育の一環として協同組合を知らせます。 ・2024年6月13日「協同組合の基礎知識」 講師 日本協同組合連携機構(JCA) ・2024年6月20日「生協の社会的役割の発揮」 講師 わかやま市民生協 ・2024年6月27日「医療福祉生協入門」 講師 和歌山中央医療生協 |
| | | SDGs学習会の開催 | 和歌山県協同組合組織連絡会として確認した「SDGsの取り組みに向けた申し合わせ」を基本に学習会を開催。また、日本協同組合連絡会に結集し、協同組合、生活協同組合の社会的役割を考え、実践を学ぶことから持続可能な社会を目指す。 | 和歌山県協同組合組織連絡会(構成:JA和歌山中央会/JF和歌山県漁連/和歌山県森連/和歌山県生協連)として協同組合間の連携と地域の課題を考えるとくみをすすめました。 ●第17回国際協同組合デーin和歌山 日時:2023年7月5日(水)13:30～15:30 場所:和歌山県JAビル2F「和ホール」 内容:記念講演「食の自給率向上と食による地域づくり」 講師 金丸 弘美 氏(作家) 参加:全体108人(生協連 29人、JA 60人、漁連 9人、森連10人) | 和歌山県協同組合組織連絡会では、2024年7月、第18回国際協同組合デーin和歌山を開催し、「地方創生と日本の将来」をテーマに片山 善博氏(大正大学教授 地域構想研究所所長)を迎え、地域の課題を考えました。 ●第18回国際協同組合デーin和歌山 日時:2024年7月5日(金)13:30～15:30 場所:和歌山県JAビル2F「和ホール」 内容:記念講演「地方創生と日本の将来」 講師 片山 善博 氏(大正大学教授 地域構想研究所所長) 参加:全体133人 |

| 番号 | 団体名 | 取組名 | 内容 | 令和5年度実績 | 令和6年度予定 |
|----|--------------|-----------------------------|--|---|---|
| | | (消費者啓発) 生協大会記念講演 | 社会のデジタル化に対応した消費者教育として、また、消費者一人一人の豊かな生活を目指して、講演会を開催。 | 2023年12月に開催した第33回和歌山県生協大会では、「世界の食品ロス対応」をテーマに記念講演を開催(講師・井出留美氏)。会場参加とオンライン参加のハイブリッドでの開催方法としました。 第33回和歌山県生協大会 日時:2023年12月6日13:30~16:00 一部 式典 永年勤続表彰 二部 記念講演 講師:伊藤 治郎(いとう じろう)氏 日本協同組合連携機構 専務補佐 テーマ:「協同組合のアイデンティティに関するICA声明について考える」 一 2025協同組合年に向けて 一」 場 所:わかやま市民生協 E*KAOホール(会場とオンライン) 参加:6生協61人 | 第34回和歌山県生協大会 日時:2024年12月5日(木)13:30~16:00 一部 式典 永年勤続表彰 二部 記念講演 講師:伊藤 治郎(いとう じろう)氏 日本協同組合連携機構 専務補佐 テーマ:「協同組合のアイデンティティに関するICA声明について考える」 一 2025協同組合年に向けて 一」 場 所:わかやま市民生協 E*KAOホール(会場と オンライン) |
| | | 消費者啓発 大学生への食の支援(消費者市民社会の構築) | 誰ひとり取り残さない社会の実現に向けて、消費者としてSDGsの17の目標について、学び行動し、安心で安全な地域社会をめざす一環として、コロナ禍の中、多くの大学生が生活困難に陥っている状況にある学生への食の支援を実施しました。 | 新型コロナウイルス感染症の終息のため、未実施。 | 新型コロナウイルス感染症の終息のため、未実施。 |
| 3 | わかやま市民生活協同組合 | 1日エコライフ | 自分たちができることから楽しく家庭で省エネについて考える啓発のため、エコライフチャレンジシートの取組を実施。 | ・1日エコライフ夏 参加人数 10,244人 減らせたCO ₂ : 1,570kg ・1日エコライフ冬 参加人数 9,959人 減らせたCO ₂ : 1,212kg | 継続して夏と冬に開催。 |
| | | 消費者啓発講座・学習会 | 消費者被害のない、だれもが安心して暮らすことのできる和歌山県の地域づくりに向けて、消費者ネットワークわかやまの運営に協力し消費者トラブル、消費者教育推進法などの啓発講座・学習会、消費者啓発講座を開催。また、消費者市民社会の形成に関したCSR活動を行います。 | ・消費者ネットワークわかやまの運営に協力し消費者トラブル、消費者教育推進法などの啓発講座・学習会、消費者啓発講座に参加。 ・各地域で消費者市民社会の形成に関する活動を行ないました。 ・2023年9月7日(木)消費者トラブル講習会とかんたん壁飾り(和歌山市)16人参加 ・2023年9月27日(水)新NISAについて賢く学びましょう♪(和歌山市)19人参加 | ・消費者ネットワークわかやまの運営に協力し消費者トラブル、消費者教育推進法などの啓発講座・学習会、消費者啓発講座に参加。 |
| | | わかまち調べ活動 | 私たちの住む街のことを知り、暮らしを見直すため、防災や環境、福祉、消費者行政などをテーマに和歌山県内市町村を訪問し、意見交換を実施。 | わかまちしらべ活動(テーマ:消費者行政・環境・介護・子育て支援・防災) 期間:2023年9月~12月 訪問:和歌山県下23市町村 参加人数:のべ153人 | わかまちしらべ活動(テーマ:未定) 期間:2024年9月~11月末 訪問:和歌山県下市町村 |
| | | 食の安全に関する学習会 | 食の安全の取組について学ぶため、わかやま市民生活協同組合の商品政策に基づいた食の安全に関する学習会を開催。 | 職員を対象に商品表示、食品衛生、お申し出対応の学習を実施しました。 | 職員を対象に、食の安全学習を実施し、理解・意識を高めます。 |
| | | エンカル消費のとりこみ | 持続可能な社会の実現を目指して、エンカル消費の学習会を実施。 | ○行政主催のイベントに参画し、エンカル消費を推進しました。 ・2023年10月1日(日)第6回橋本市消費者交流会(SDGsはしもと環境フェア) ・2023年11月26日(日)紀の川市産業まつり・食育フェア ○各地域でリサイクルを学ぶ工場見学を実施しました。 ・2023年5月11日(木)バスツアー大人だって社会見学!リバース&コープラボ見学(和歌山市)18人参加 ・2023年8月22日(火)リバースの工場見学と関空裏側探検バスツアー(和歌山市)39人参加 | 県内各地で開催予定。 |
| | | 防災のとりこみ | 地震や台風など自然災害の発生に備え、地域で防災のとりこみを開催。 | 地域で学習会を開催。 ・2023年4月18日(火)防災、減災教室 さいちゃんの災害避難ゲーム(御坊市)13人参加 ・2023年6月28日(水)防災学習会(和歌山市)25人参加 | 県内各地で開催予定。 |
| | | 子育て支援としての親子参加型のとりこみ | 未就園児とそのお母さんなど子育ての世代の方々が交流できる場を開催。 | 組合員の自発的なグループである「コープくらぶ」の【ばあぼのて】で、未就学児童と親子で楽しみながら地域の交流の場を実施しています。 | 継続して活動中 |

| 番号 | 団体名 | 取組名 | 内容 | 令和5年度実績 | 令和6年度予定 |
|----|-----------------------|----------------|--|---|--|
| 4 | 消費者ネットワークわかやま | 消費者問題学習会 | 誰もが安心できる和歌山の消費者行政の充実とひとりひとりが自立した消費者を目指すため、啓発講座を開催。 | 2023年9月、11月に、NPO法人消費者サポートネットさんに講師を依頼し、和歌山市、橋本市で消費者啓発講座「スマホに潜む危険～SNSを使った詐欺に注意～」を開催しました。オンラインでの参加も実施しました。 ・2023年9月16日(土)13:30-15:00 和歌山県勤労福祉会館(プラザホープ) 特殊詐欺やSNSを使った詐欺 和歌山県消費生活相談員 前田 佳子 氏 参加 30人 ・2023年11月25(土)13:30-15:00 橋本市サカイキャニング産業文化会館「アザレア」(橋本市) 特殊詐欺やSNSを使った詐欺 和歌山県消費生活相談員 前田 佳子 氏 参加 38人 | 2024年9月、11月に、和歌山市、紀ノ川市で消費者啓発講座を開催します。オンラインでの参加も実施しました。 ・2024年9月14日(土)13:30-15:00 和歌山ビッグ愛 801(和歌山市) 「特殊詐欺に注意！身近な被害と対処法」 講師：和歌山県警察・特殊詐欺被害防止アドバイザー 参加 35人 ・2024年11月16日(土)13:30-15:00 打田生涯学習センター(紀の川市) 「身近な消費者被害、みんなで学んで防ごう」 和歌山県消費生活センター相談員 田村 聡志 氏 |
| | | 消費者行政ヒアリング調査 | 誰もが安心できる和歌山の消費者行政の充実とひとりひとりが自立した消費者を目指すため、消費者行政ヒアリング調査を実施。 | 2010年から2023年まで14年継続して行なっています。 2023年9月19日～10月6日にかけて、消費者ネットワークわかやま世話人会とわかやま市民生活協同組合が合同で県下全市の消費者行政担当窓口を訪問し、現状の課題や今後の問題点などについてヒアリング調査を行ないました。 各市では地域の特徴に合わせて色々な取り組みをされています。今後の消費者行政の予算や相談員の確保、ネット通販(定期購入)等についての意見が出されました。 | わかやま市民生協と共催で県内全市(9市)の消費者行政ヒアリング調査を実施します。 2024年9月3日～10月2日にかけて、消費者ネットワークわかやま世話人会とわかやま市民生活協同組合が合同で県下全市の消費者行政担当窓口を訪問し、現状の課題や今後の問題点などについてヒアリング調査を行ないました。 |
| | | 公開学習会 | 誰もが安心できる和歌山の消費者行政の充実とひとりひとりが自立した消費者を目指すため、公開学習会を開催。 | 公開学習会を開催します。(年2回) <第1回公開学習会> 日時:2023年12月2日(土)13:30～15:00 場 所:和歌山ビッグ愛201会議室 テーマ:「終活と悪徳商法・詐欺」 講師:小谷みどり氏(シニア生活文化研究所) 参加:39人 <第2回公開学習会> 日時:2024年3月9日(土)13:30～15:00 場 所:プラザホープ2階・多目的室 テーマ:「知っていますか?ほっといたら大変～相続登記～」 講師:小久保武彦氏(司法書士) 参加:39人 | 公開学習会を開催します。(年2回) <第1回公開学習会> 日 時:2024年11月16日(土)13:30～15:00 場 所:プラザホープ会議室1・2 テーマ:「そのもうけ話、詐欺では?」 講師:岡田 崇氏(弁護士) <第2回公開学習会> 未定 |
| 5 | 和歌山県くらしの研究会 | 生活文化セミナー、機関誌発行 | 自立した消費者を目指し、機関誌の発行、街頭啓発へ協力、生活文化セミナーを開催、記念講演会を開催。 | 6月21日 創立50周年記念式典・講演会の実施、 機関誌の発行、 消費者月間街頭啓発への協力 | 機関誌の発行、 消費者月間街頭啓発への協力 |
| 6 | 和歌山県食生活改善推進協議会 | 出前講座 | 地域の子供から高齢者までの食育の推進及び健康づくりを定着させるため、各年代に対し、食育教室、料理教室、健康づくり教室を開催。 | ・幼少時期児とその親を対象とした食育教室:14回252人 ・単身男性を対象とした料理教室:4回35人 ・高齢者を対象とした健康づくり教室:25回480人 | ・幼少時期児とその親を対象とした食育教室:10回 ・単身男性を対象とした料理教室:1回 ・高齢者を対象とした健康づくり教室:19回 |
| | | 啓発 | 地域の子供から高齢者までの食育の推進及び健康づくりを定着させるため、啓発活動を実施。 | 世界禁煙デー(5月31日)の啓発:4回 | 世界禁煙デー(5月31日)の啓発:7回 |
| 7 | (一社)和歌山県LPガス協会 | LPガス快適生活向上運動 | 高齢者のみで生活する家庭を対象に使用中のLPガス器具の点検を行い、「もっと安全さらに安心」を啓発する。 | 県内の安全安心確保の為、質量販売(ガスメーターを使用しない等屋外等で使用)で使わなくなった容器や空き家に放置されたままになった容器を回収し、処分する。協会持参への持込22本 他 充填所への持込11本 引続き県民の友へ年2回(5月号・10月号)掲載を行っている。 | 前年度同様に「県民の友」に不要となったLPガス小瓶容器の回収について掲載を行っている。県民の友による不用容器の持ち込みが9月末現在7本となっている。 |
| | | | 高齢者等で生活する家庭及び同居する家庭等を対象に訪問し、自然災害が多発する中、令和3年より避難勧告が廃止され警戒レベル3で高齢者等(障害者含む)避難に変更されている事をメインに周知し、今年度は避難サポートをメインとし、ガス機器の点検は希望先のみとした。参加事業所23件 訪問戸数約2,300件 お困り事対応23件 | 予定なし | |
| 8 | (一財)和歌山県老人クラブ連合会 | 研修会・啓発資料配布 | 高齢者に対し、消費生活に関する情報の提供、消費者教育・啓発活動を推進して、高齢者の消費者被害の未然防止・拡大防止及び早期発見を目指し、研修会の開催、啓発資料の配布。 | 5月、7月に開催した女性部会において、消費者問題について県下市町村老連に周知や取り組みの推進を図った。11月に74名参加による市町村老人クラブ女性リーダー研修会を開催し講演や中央会議の方針伝達により消費者被害の未然防止につなげた。 | 5月、7月に開催した女性部会において、消費者問題について県下市町村老連に周知や取り組みの推進を図った。11月に市町村老人クラブ女性リーダー研修会を開催予定。 |
| 9 | 花王株式会社(花王エコーラボミュージアム) | 環境活動の情報発信と啓発 | 地球環境に配慮したモノづくりを目指す花王のエコ技術の情報発信のため、先端のエコ技術を体験する施設を開設。 | 小学校の社会科見学に対しては、6月から制限なくリアル見学を再開すると共に、教材提供とオンライン配信も並行して実施(学校のご希望により選択可)。 | 小学校の社会科見学については、1月からリアル見学を実施、夏休み、春休み等に家族向け体験型イベントを実施、オンラインでの見学会も実施することで環境啓発活動を進める。 |

| 番号 | 団体名 | 取組名 | 内容 | 令和5年度実績 | 令和6年度予定 |
|----|------------------|--------------------|---|------------------|---|
| 10 | 和歌山弁護士会 | 出前講座 | 架空請求、マルチ被害などの消費者被害にあわないための心構え、法的観点、対処法を伝えるため、出前講座を実施。 | 1件実施 | 申込みがあれば実施する。 |
| | | 児童養護施設退所者等アフターケア事業 | 児童養護施設の高校生向け授業(生活技術講習)の中で、例年、消費者問題を取り上げている。 | 実施なし | 依頼があれば実施する。 |
| 11 | 和歌山県司法書士会 | 高校生等法教育事業 | 高校生等が、大学や専門学校進学、就職等、社会に出たのにトラブルに巻き込まれないように、契約の基礎知識、クレジットカード、ネットショッピング、悪徳商法、多重債務問題、ブラックバイトや労働問題のトラブルに遭遇した時の対処方法についてを司法書士を派遣し講義を実施している。 | 成年年齢引き下げに向けた教材作成 | 高校生等が、大学や専門学校進学、就職等、社会に出たのにトラブルに巻き込まれないように、契約の基礎知識、クレジットカード、ネットショッピング、悪徳商法、多重債務問題、ブラックバイトや労働問題のトラブルに遭遇した時の対処方法についてを司法書士を派遣し講義を実施予定。 |
| 12 | (一社)和歌山県不動産鑑定士協会 | 無料相談会 | 不動産鑑定制度への理解と周知を図るため、不動産の有効利用や不動産の評価等について無料相談を実施。 | 10回開催 | 10回開催予定 |